

# 2020年12月期 通期決算 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

2021年2月5日

Your Dreams, Our Challenge

<b>2020年12月期 通期決算説明</b>	<b>P.3</b>
<b>■ 2020年12月期 通期業績</b>	<b>P.4</b>
<b>1. 業績のポイントと主要項目</b>	<b>P.5</b>
<b>2. セグメント別・地域別の状況</b>	<b>P.13</b>
<b>■ 2021年通期業績見通し</b>	<b>P.20</b>
<b>付属資料</b>	<b>P.26</b>

# 2020年12月期 通期業績

## 2020年12月期通期業績：

		(前年比)	コロナ禍影響額
売上高	14,123 億円	(▲1,057億円)	▲1,350 億円
営業利益	758 億円	(▲258億円)	▲500 億円

- 戦略事業はコロナ禍の影響を受けず業績拡大
- ガラスおよび化学品がコロナ禍の影響を強く受け、減収減益
- コロナ禍影響がなければ前年と比べ増収増益

## 2021年12月期通期見通し：

		(前年比)
売上高	15,300 億円	(+1,177億円)
営業利益	1,000 億円	(+242億円)

- 業績は緩やかに回復することが予想されるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明

# 1. 業績のポイントと主要項目

# 2020年12月期 通期業績

(億円)

	FY2019 通期	FY2020 通期	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)マイナス要因
売上高	15,180	<b>14,123</b>	▲ 1,057*	(+) ライフサイエンス製品、電子部材、液晶用ガラス基板の出荷増加 *(-) 自動車用ガラス、建築用ガラス、フッ素製品の出荷減少 (-) 東南アジアでの苛性ソーダ、液晶用ガラス基板、 建築用ガラスの販売価格下落
営業利益	1,016	<b>758</b>	▲ 258	上記に加え、 (+) 原燃材料価格、一般管理費などの削減
税引前利益	762	<b>571</b>	▲ 191	(+) 減損損失額が減少 (-) 欧州のガラス事業に関わる構造改善費用を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	444	<b>327</b>	▲ 117	
為替レート (期中平均) JPY/USD	109.05	<b>106.82</b>		
JPY/EUR	122.08	<b>121.81</b>		
原油(Dubai,期中平均) USD/BBL	63.53	<b>42.20</b>		

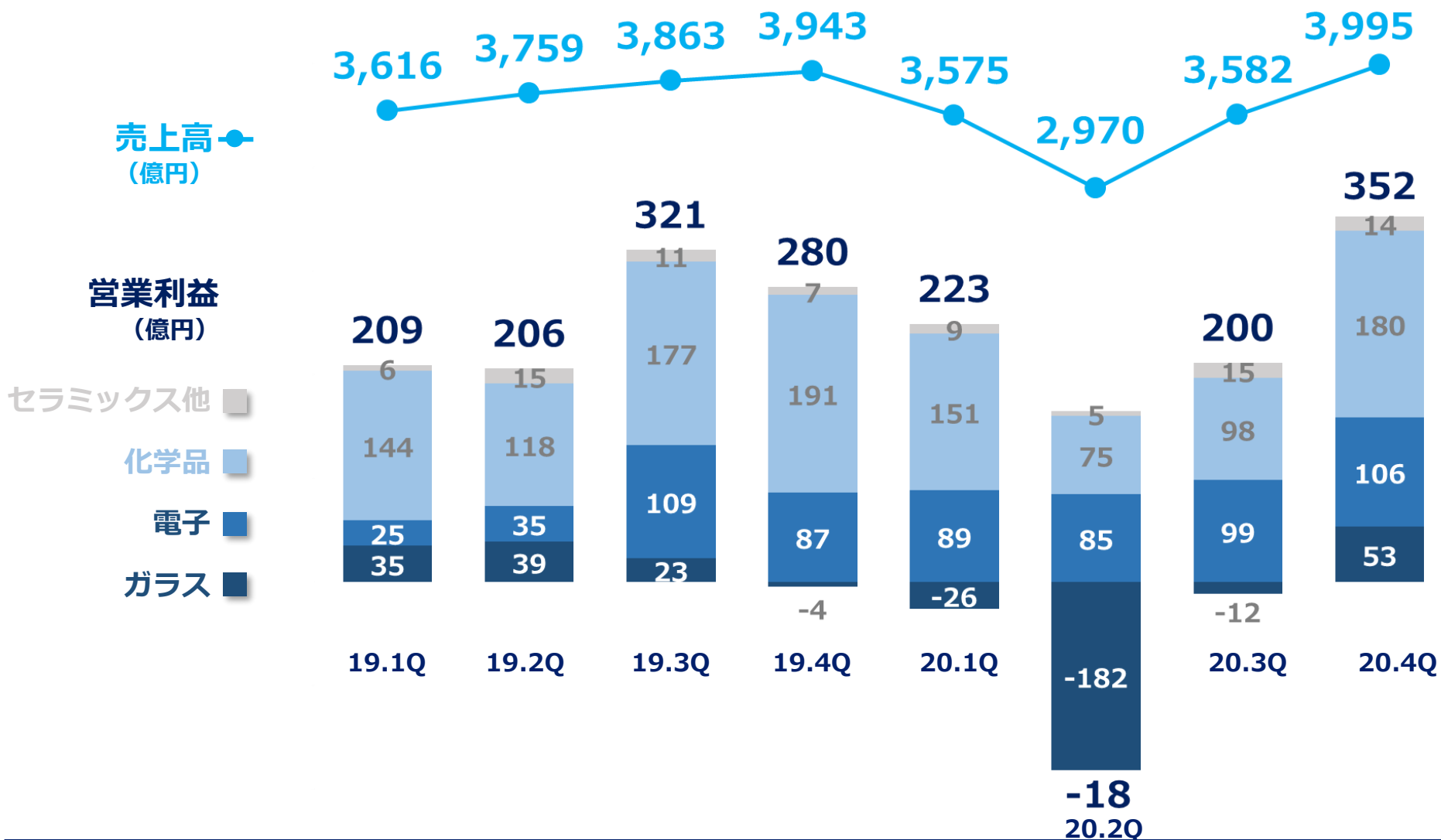
\* うち、為替差影響は▲176億円、連結範囲変更の影響は+81億円

# セグメント別業績 前年比較

(億円)

	FY2019		FY2020		増減		コロナ禍影響額	
	通期		通期		(b)-(a)		売上高	営業利益
	(a)		(b)					
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
ガラス	7,429	93	6,510	▲ 166	▲ 920	▲ 258	▲ 830	▲ 305
電子	2,767	256	2,894	378	+ 127	+ 122	▲ 60	▲ 25
化学品	4,758	630	4,512	505	▲ 246	▲ 125	▲ 460	▲ 170
セラミックス・その他	832	39	811	42	▲ 21	+ 4		
消去	▲ 606	▲ 0	▲ 603	▲ 1	+ 3	▲ 1		
連結合計	15,180	1,016	14,123	758	▲ 1,057	▲ 258	▲ 1,350	▲ 500

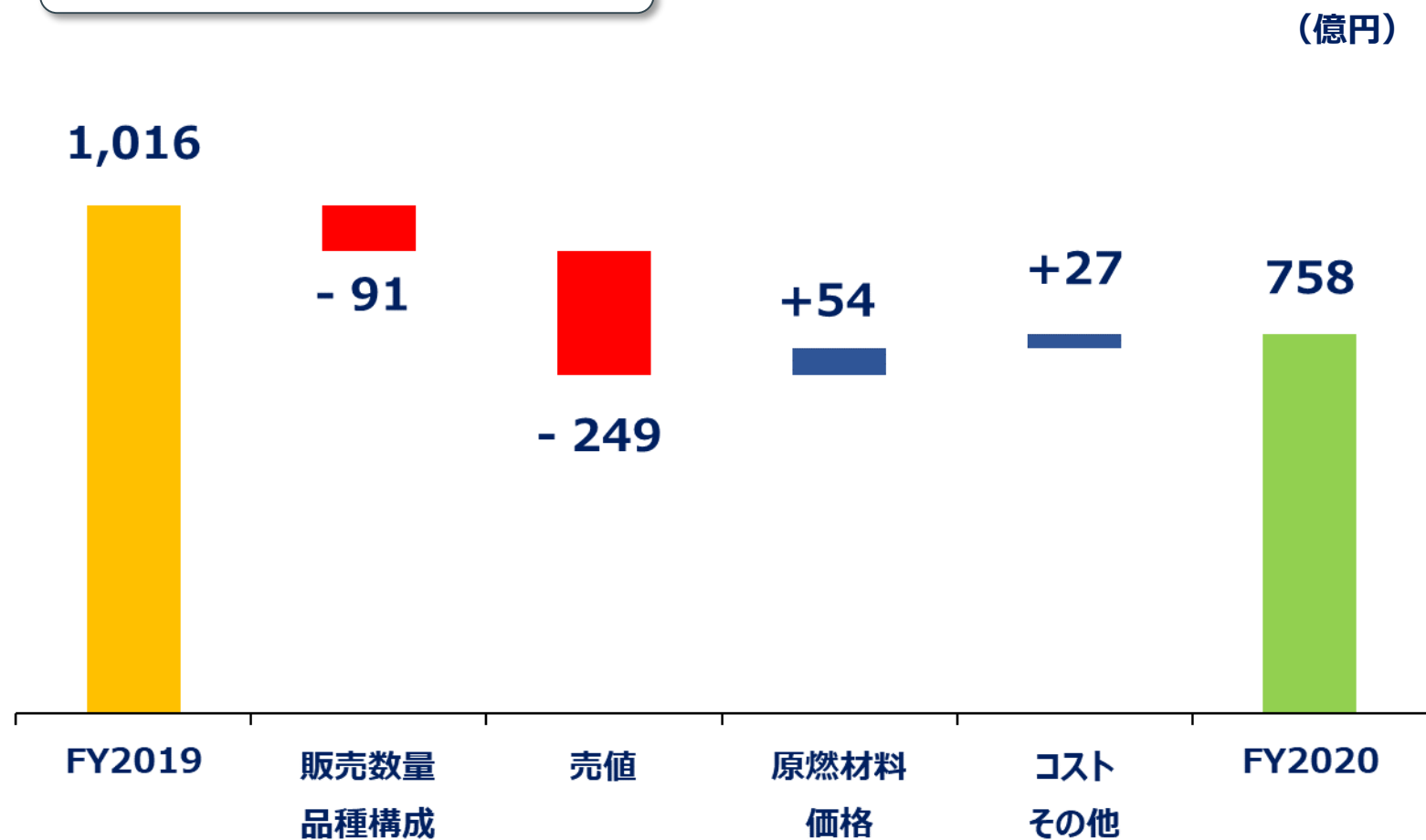
## ■ 20年4Q売上高・営業利益は前年を超えるレベルまで急回復





# 営業利益増減要因分析(FY2020 vs. FY2019)

前年比 258億円減益



## ■ コロナ禍で現金及び現金同等物を積み増し、一時的にD/Eが上昇

	2019/12	2020/12	増減	(億円)
現金及び現金同等物	1,138	<b>2,361</b>	+ 1,223	
棚卸資産	2,912	<b>2,748</b>	▲ 164	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	13,516	<b>14,376</b>	+ 860	← 為替差影響 ▲221億円
その他	5,788	<b>5,859</b>	+ 71	
<b>資産合計</b>	<b>23,354</b>	<b>25,345</b>	+ 1,991	← 為替差影響 ▲362億円
有利子負債	6,028	<b>7,880</b>	+ 1,851	
その他	4,500	<b>5,035</b>	+ 535	
<b>負債の部</b>	<b>10,528</b>	<b>12,914</b>	+ 2,386	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,571	<b>11,151</b>	▲ 420	
非支配持分	1,255	<b>1,279</b>	+ 24	
<b>資本の部</b>	<b>12,826</b>	<b>12,430</b>	▲ 396	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>23,354</b>	<b>25,345</b>	+ 1,991	
<b>D/E比率</b>	0.47	<b>0.63</b>		

(億円)

通期

	FY2019	FY2020
税引前利益	762	<b>571</b>
減価償却費及び償却費	1,434	<b>1,437</b>
運転資金増減	▲ 166	<b>78</b>
その他	▲ 111	<b>168</b>
<b>営業活動によるCF</b>	<b>1,919</b>	<b>2,254</b>
<b>投資活動によるCF</b>	<b>▲ 1,826</b>	<b>▲ 2,302</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>93</b>	<b>▲ 49</b>
有利子負債増減	113	<b>1,578</b>
支払配当	▲ 266	<b>▲ 266</b>
その他	▲ 20	<b>▲ 28</b>
<b>財務活動によるCF</b>	<b>▲ 173</b>	<b>1,284</b>
<b>現金等に係る換算差額</b>	<b>▲ 17</b>	<b>▲ 12</b>
<b>現金等の増加額</b>	<b>▲ 97</b>	<b>1,223</b>

	通期	
	FY2019	FY2020
<b>設備投資額</b>	2,077	<b>2,413</b>
ガラス	804	<b>641</b>
電子	558	<b>807</b>
化学品	690	<b>952</b>
セラミックス・その他	25	<b>15</b>
消去	▲ 1	▲ 2
<b>減価償却費</b>	1,434	<b>1,437</b>
ガラス	525	<b>510</b>
電子	473	<b>479</b>
化学品	394	<b>430</b>
セラミックス・その他	43	<b>19</b>
消去	▲ 1	▲ 1
<b>研究開発費</b>	475	<b>464</b>

(億円)

### 【主な設備投資案件】

- ・車載ディスプレイ用カバーガラス中国投資（ガラス）
- ・ディスプレイ中国G11投資（電子）
- ・ディスプレイ製造窯修繕（電子）
- ・フッ素関連製品能力増強（化学品）
- ・バイオ医薬品原薬製造工場買収（化学品）
- ・東南アジア塩ビ能力増強（化学品）
- ・合成医薬能力増強（化学品）

など

### 【主な減価償却費増加要因】

- ・アサヒマスケミカル 発電所  
(19Q2稼働開始)

など

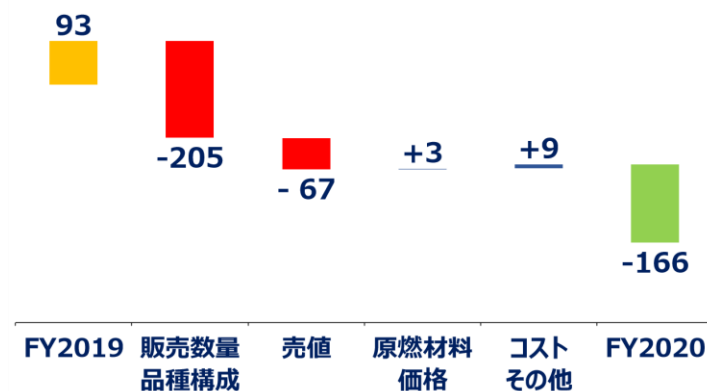
## 2. セグメント別・地域別の状況

(億円)

	通期		増減	増減率
	FY2019	FY2020		
<b>売上高</b>	7,429	<b>6,510</b>	▲ 920*	▲ 12.4%
建築用ガラス	3,527	<b>3,249</b>	▲ 278	▲ 7.9%
自動車用ガラス	3,883	<b>3,235</b>	▲ 647	▲ 16.7%
(セグメント間)	20	<b>26</b>		
<b>営業利益</b>	93	▲ 166	▲ 258	-

\* うち、為替差影響は▲101億円、連結範囲変更の影響は+6億円

## 営業利益増減要因分析



### 〔建築用ガラス〕

- ・ コロナ禍の影響により出荷が大幅に減少
- ・ 欧米で販売価格が下落  
なお、欧州は需給バランス改善により3Qから販売価格改善傾向が続く
- ・ 需要減少に伴う製造設備の稼働調整による製造原価悪化があるも、一般管理費の削減の効果が上回る

### 〔自動車用ガラス〕

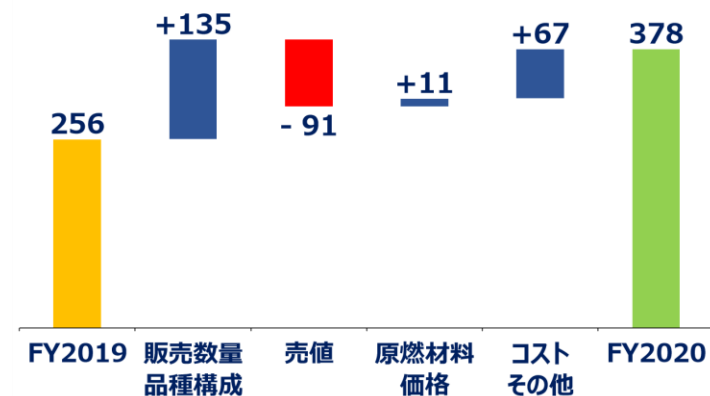
- ・ コロナ禍の影響により世界的に自動車生産台数が減少し、当社グループの出荷は中国を除き減少
- ・ 需要減少に伴う製造設備の大幅な稼働調整により製造原価悪化

(億円)

	通期		増減	増減率
	FY2019	FY2020		
売上高	2,767	<b>2,894</b>	+ 127*	+4.6%
ディスプレイ	1,747	<b>1,772</b>	+ 25	+1.4%
電子部材	905	<b>1,058</b>	+ 153	+16.9%
(セグメント間)	115	<b>63</b>		
営業利益	256	<b>378</b>	+ 122	+47.8%

\* うち、為替差影響は▲16億円、連結範囲変更の影響は+26億円

## 営業利益増減要因分析



### 〔ディスプレイ〕

- ・ 液晶用ガラス基板の販売価格は下落したものの、出荷が増加
- ・ ディスプレイ用特殊ガラスはDragontrail®の出荷が減少

### 〔電子部材〕

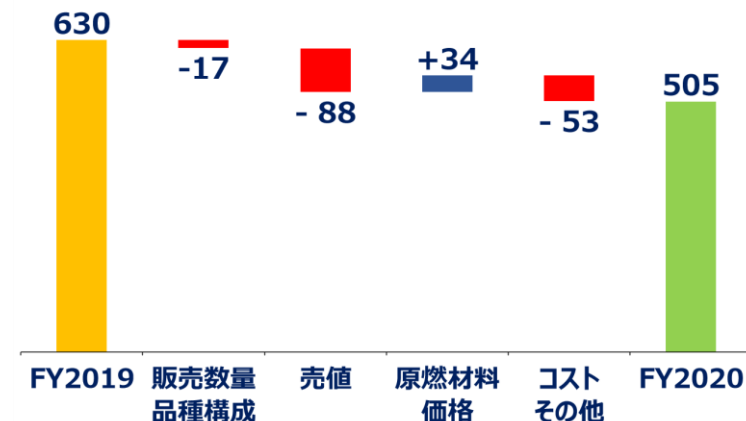
- ・ オプトエレクトロニクス用部材およびEUV露光用フォトマスクブランクスなどの半導体関連部材の出荷が増加
- ・ Taconic社事業買収が寄与

(億円)

	通期		増減	増減率
	FY2019	FY2020		
<b>売上高</b>	4,758	<b>4,512</b>	▲ 246*	▲5.2%
クローラルカリ・ウレタン	2,928	<b>2,641</b>	▲ 287	▲9.8%
フッ素・スペシャリティ	1,199	<b>1,057</b>	▲ 142	▲11.8%
ライフサイエンス (セグメント間)	617	<b>799</b>	+ 182	+29.5%
	14	<b>14</b>		
<b>営業利益</b>	630	<b>505</b>	▲ 125	▲19.8%

\* うち、為替差影響は▲58億円 連結範囲変更の影響は+49億円

## 営業利益増減要因分析



### 〔クローラルカリ・ウレタン〕

- ・ 東南アジアでの苛性ソーダ販売価格が下落。なお、塩ビの販売価格は3Qから改善傾向が続く

### 〔フッ素・スペシャリティ〕

- ・ 航空機などの輸送機器向けフッ素関連製品の出荷が減少

### 〔ライフサイエンス〕

- ・ 合成医農薬、バイオ医薬品の受託件数が増加

<営業利益構成比\* >

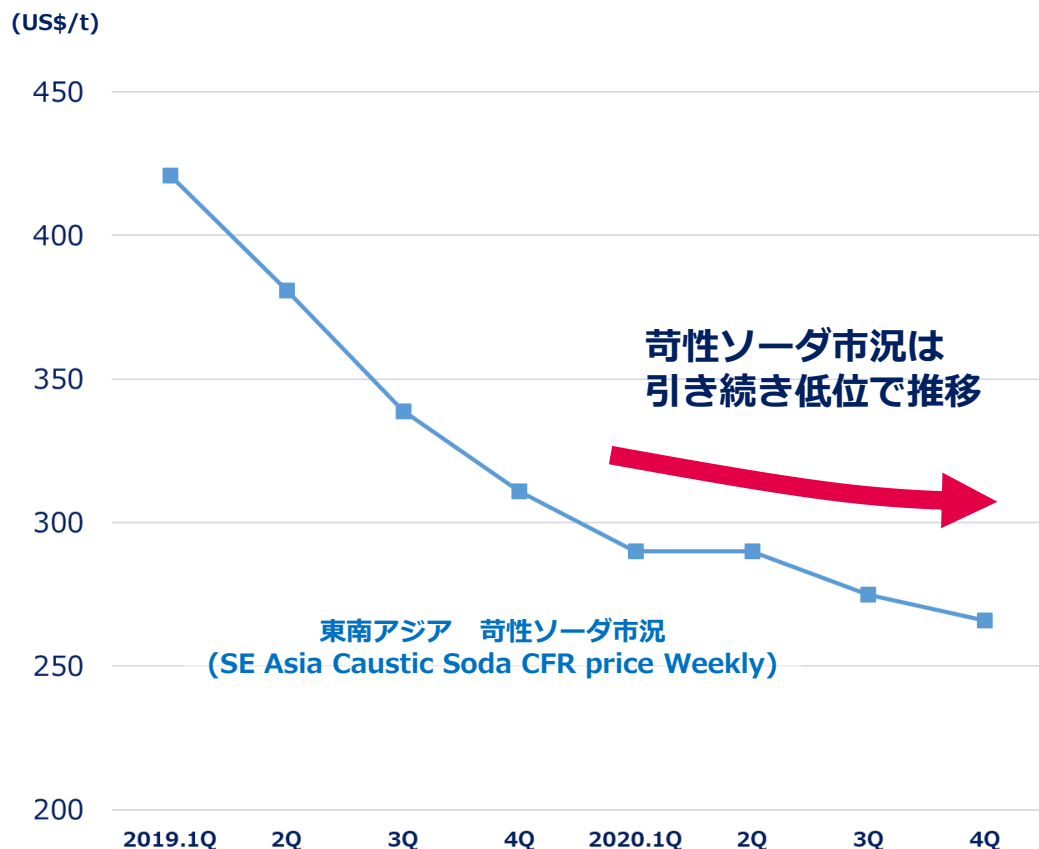
	19/1-4Q	20/1-4Q
クローラルカリ・ウレタン	6割	4割
フッ素・スペシャリティ	3割	3割
ライフサイエンス	1割	3割

\* 共通費用配賦前

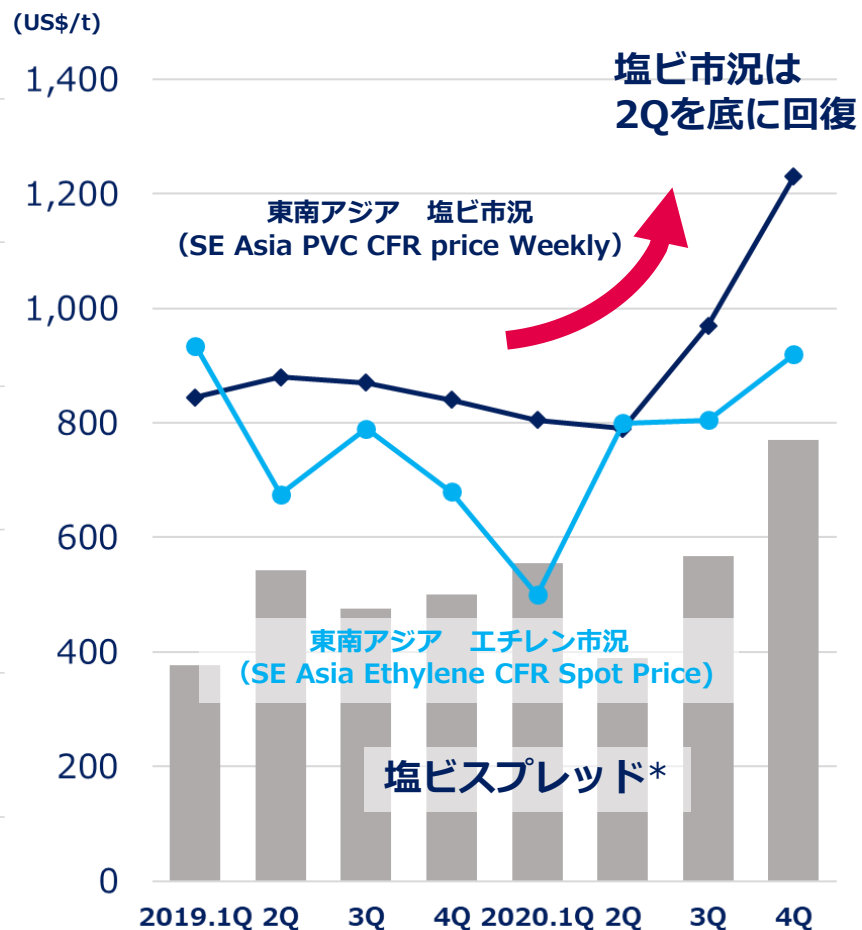


# (ご参考) 東南アジア 苛性ソーダ、塩ビ市況

## 苛性ソーダ市況



## 塩ビ市況

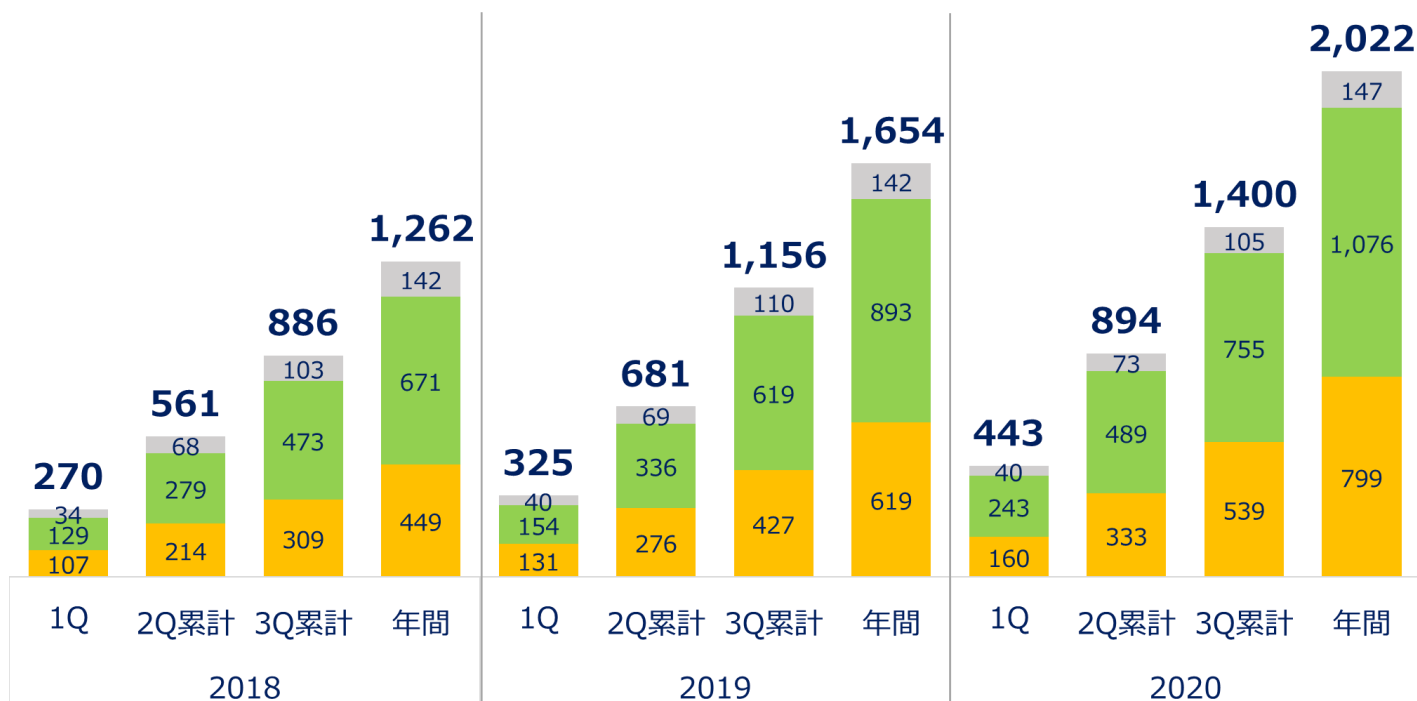


出典：Bloombergデータをもとに作成

\*塩ビスプレッド：塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)で計算

## ■ コロナ禍の影響は限定的で順調に業績拡大

### 戦略事業売上高推移 (億円)



#### 主な製品・事業

- モビリティ**
  - ・車載ディスプレイ用カバーガラス
  - ・モビリティ新規部材 (含5G通信)
- エレクトロニクス**
  - ・半導体関連部材
  - ・オプトエレクトロニクス用部材
  - ・次世代高速通信用部材
  - ・エレクトロニクス用フッ素製品
- ライフサイエンス**
  - ・合成医薬
  - ・バイオ医薬

戦略事業 営業利益	39	85	153	244	53	104	222	331	93	177	296	444	(億円)
営業利益 貢献比率				20%				33%					59%

\* 戦略事業の規模拡大に伴い、共通費用の配賦基準を営業利益比率から予算売上高比率に変更 (2020年以前も遡及適用)

	通期		(億円)
	FY2019	FY2020	増減
<b>売上高</b>	15,180	<b>14,123</b>	▲ 1,057
日本・アジア	10,067	<b>9,453</b>	▲ 614
アメリカ	1,726	<b>1,545</b>	▲ 181
ヨーロッパ	3,387	<b>3,125</b>	▲ 263
<b>営業利益</b>	1,016	<b>758</b>	▲ 258
日本・アジア	1,217	<b>1,017</b>	▲ 200
アメリカ	55	<b>34</b>	▲ 21
ヨーロッパ	151	<b>69</b>	▲ 82
地域共通費用	▲ 407	▲ <b>363</b>	+ 44

為替影響：  
▲176億円

新規連結影響：  
+81億円

# 2021年通期業績の見通し

# 2021年 通期業績見通し

- 業績は回復傾向で前年比増収増益を見込む
- 感染再拡大の景気に与える影響は注視する必要がある

(億円)

	FY2020	FY2021 予想
売上高	14,123	15,300
営業利益	758	1,000
税引前利益	571	870
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	327	560
1株当たり配当 (円)	120	120
営業利益率	5.4%	6.5%
ROE	2.9%	5.0%*
為替レート (期中平均)	JPY/USD	106.8
	JPY/EUR	121.8
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	42.2
エチレン(CFR SEA)	USD/MT	713
		50.0
		800

\* FY2021予想のROEは、2020年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

# セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

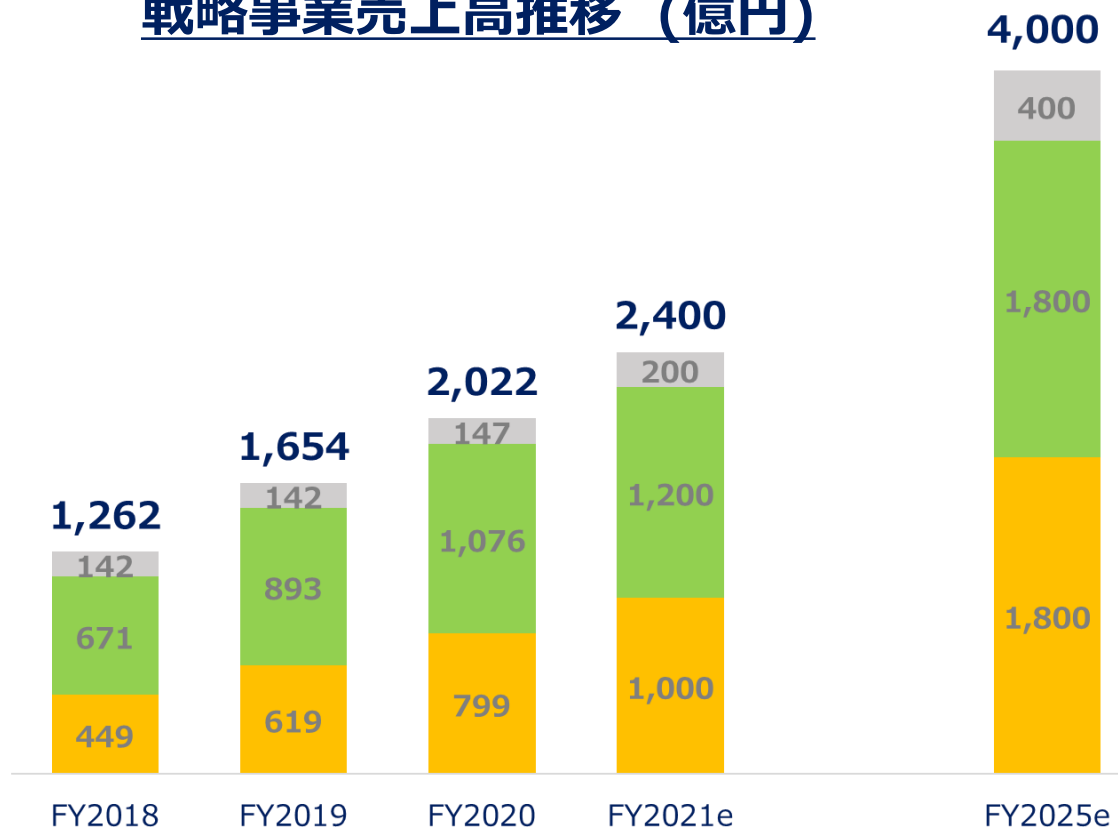
	FY2020		FY2021 予想		増減	
	(a)		(b)		(b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	6,510	▲ 166	7,000	80	+ 490	+ 246
電子	2,894	378	3,100	300	+ 206	▲ 78
化学品	4,512	505	4,900	600	+ 388	+ 95
セラミックス・その他	811	42	800	20	▲ 11	▲ 22
消去	▲ 603	▲ 1	▲ 500	0	+ 103	+ 1
連結合計	14,123	758	15,300	1,000	+ 1,177	+ 242

- 業績は緩やかに回復することが予想されるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明

2021年 見通し	
ガラス	<p><b>(建築用ガラス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域で需要は緩やかに回復、出荷も緩やかに回復</li> </ul> <p><b>(自動車用ガラス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の自動車生産台数が前年と比較し回復、出荷も緩やかに回復</li> </ul>
電子	<p><b>(ディスプレイ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・液晶用ガラス基板は中国向けの出荷が増加、価格下落幅が縮小</li> <li>・ディスプレイ用特殊ガラスはスマートフォン市場の回復で、出荷が増加</li> <li>・液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げで、減価償却費が増加</li> </ul> <p><b>(電子部材)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体関連部材、オプトエレクトロニクス用部材の出荷は引き続き堅調</li> <li>・半導体関連製品の新規設備立ち上げ等で、減価償却費が増加</li> </ul>
化学品	<p><b>(クロールアルカリ・ウレタン)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアのクロールアルカリ製品の需要は緩やかに回復</li> </ul> <p><b>(フッ素・スペシャリティ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車向け・半導体向けの需要が緩やかに回復</li> </ul> <p><b>(ライフサイエンス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス用ワクチン開発関連の新規受託もあり、堅調に推移</li> </ul>

## ■ 順調に業績拡大する見通し

### 戦略事業売上高推移 (億円)



#### 主な製品・事業

##### モビリティ

- ・車載ディスプレイ用  
カバーガラス
- ・モビリティ新規部材  
(含5G通信)

##### エレクトロニクス

- ・半導体関連部材
- ・オプトエレクトロニクス用部材
- ・次世代高速通信用部材
- ・エレクトロニクス用フッ素製品

##### ライフサイエンス

- ・合成医薬
- ・バイオ医薬

#### 戦略事業 営業利益\*

244

331

444

500

1,000

(億円)

\*戦略事業の規模拡大に伴い、共通費用の配賦基準を営業利益比率から予算売上高比率に変更 (2020年以前も遡及適用)



# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間 (億円)

FY2020 FY2021e

	FY2020	FY2021e
<b>設備投資額</b>	2,413	<b>2,000</b>
ガラス	641	<b>480</b>
電子	807	<b>680</b>
化学品	952	<b>820</b>
セラミックス・その他	15	<b>20</b>
消去	▲ 2	<b>0</b>
<b>減価償却費</b>	1,437	<b>1,600</b>
ガラス	510	<b>500</b>
電子	479	<b>600</b>
化学品	430	<b>480</b>
セラミックス・その他	19	<b>20</b>
消去	▲ 1	<b>0</b>
<b>研究開発費</b>	464	<b>550</b>

## 【主な設備投資案件】

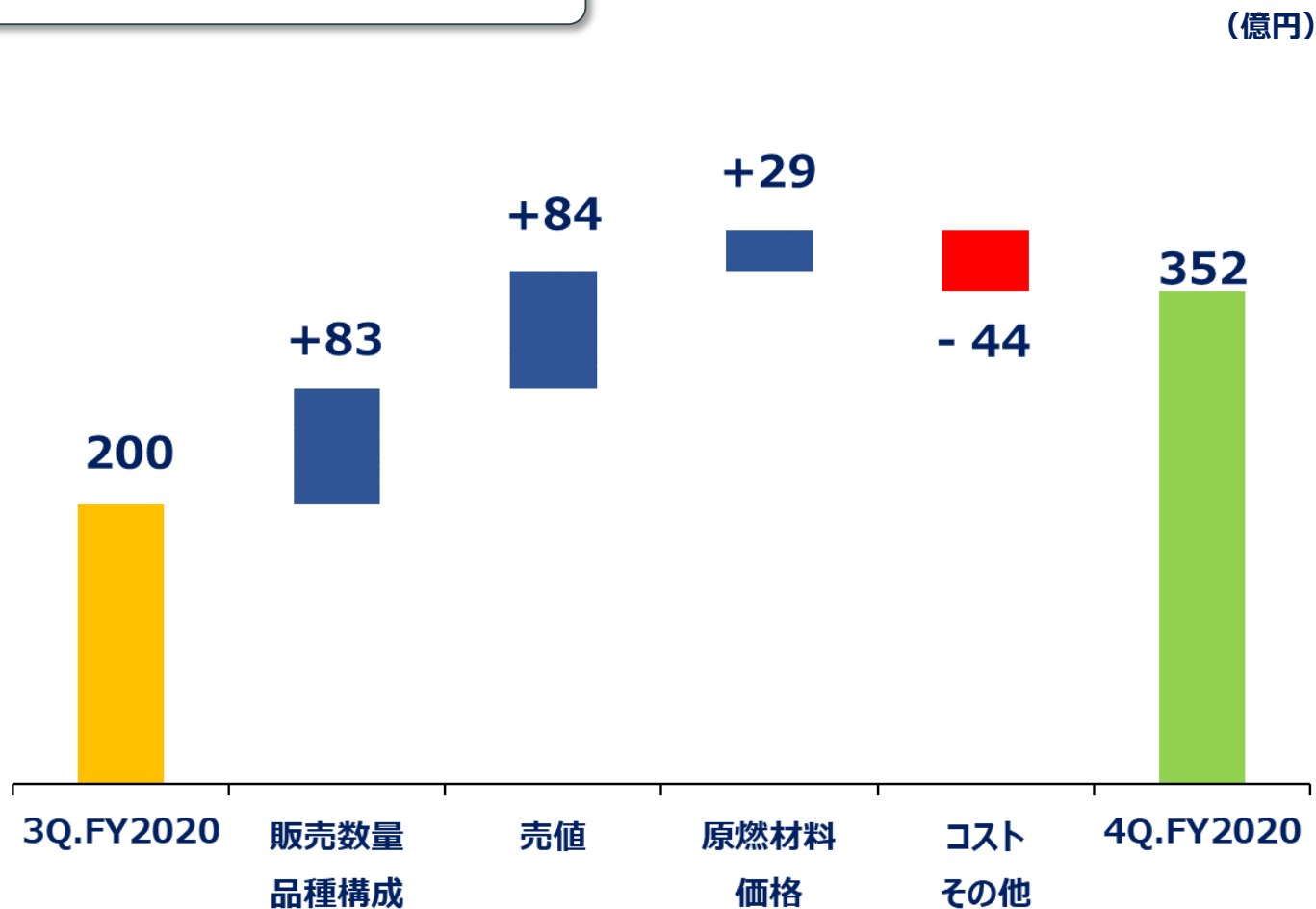
- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)
- ・電子部材関連製造設備増強 (電子)
- ・フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ・東南アジア塩ビ能力増強(化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強 (化学品)

など

# 付属資料

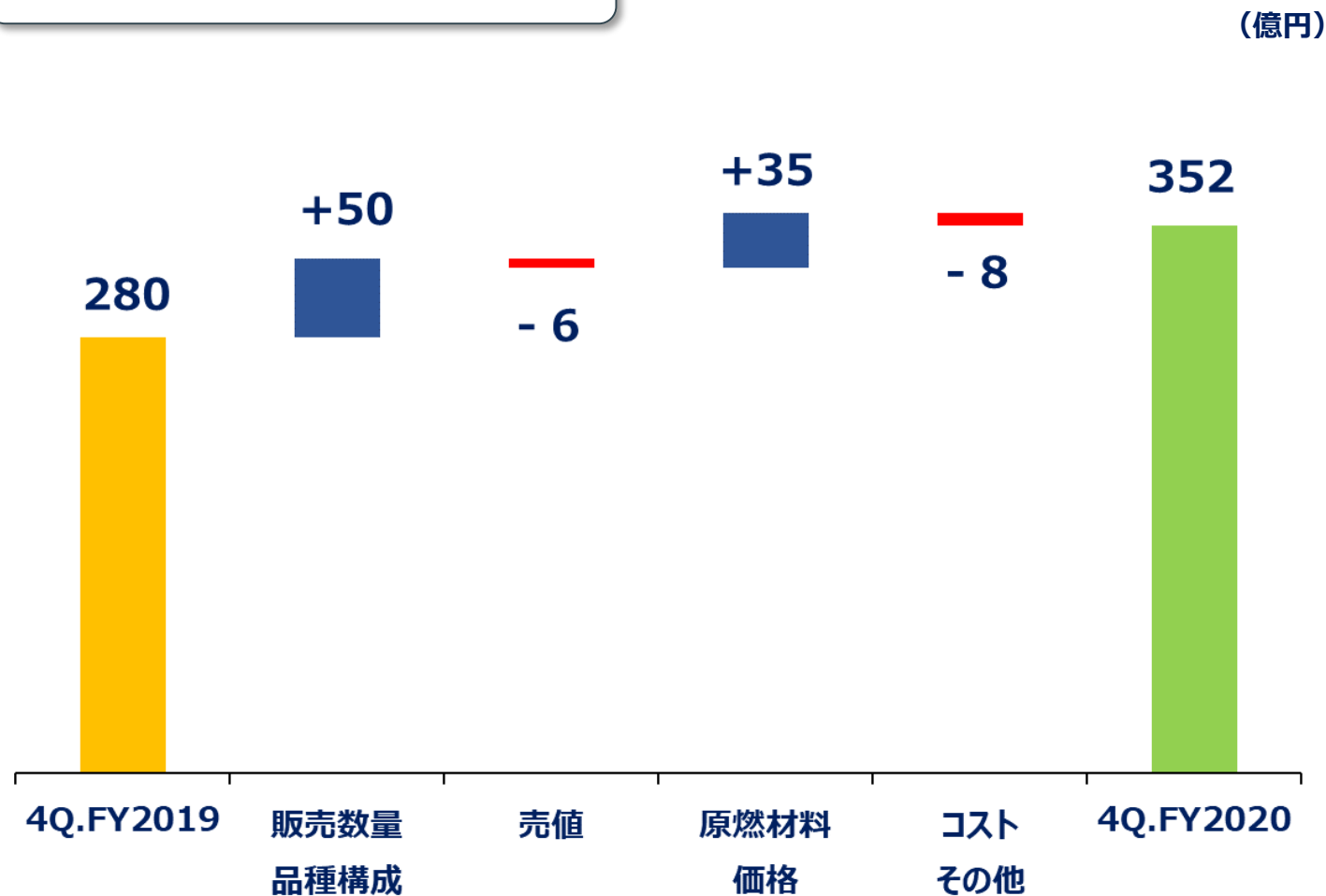
# 営業利益増減要因分析(4Q.FY2020 vs. 3Q.FY2020)

前四半期比 152億円増益



# 営業利益増減要因分析(4Q.FY2020 vs. 4Q.FY2019)

前年同期比 72億円増益



# 売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

日本・アジア    アメリカ    ヨーロッパ    セグメント間    合計

ガラス	建築用ガラス	<b>4Q.FY2020</b>	<b>321</b>	<b>129</b>	<b>452</b>	-	<b>901</b>
		4Q.FY2019	338	112	456	-	905
	自動車ガラス	<b>4Q.FY2020</b>	<b>537</b>	<b>160</b>	<b>246</b>	-	<b>943</b>
		4Q.FY2019	497	169	257	-	923
		<b>4Q.FY2020</b>	<b>858</b>	<b>288</b>	<b>697</b>	<b>7</b>	<b>1,851</b>
		4Q.FY2019	835	280	713	9	1,837
電子		<b>4Q.FY2020</b>	<b>705</b>	<b>67</b>	<b>3</b>	<b>19</b>	<b>792</b>
	4Q.FY2019	677	57	2	24	760	
化学品		<b>4Q.FY2020</b>	<b>1,035</b>	<b>80</b>	<b>178</b>	<b>3</b>	<b>1,296</b>
	4Q.FY2019	1,056	86	129	3	1,275	
セラミックス・その他		<b>4Q.FY2020</b>	<b>84</b>	-	-	<b>150</b>	<b>235</b>
	4Q.FY2019	107	-	-	116	222	
消去		<b>4Q.FY2020</b>	-	-	-	<b>▲ 179</b>	<b>▲ 179</b>
	4Q.FY2019	-	-	-	▲ 151	▲ 151	
合計		<b>4Q.FY2020</b>	<b>2,682</b>	<b>435</b>	<b>878</b>	-	<b>3,995</b>
	4Q.FY2019	2,675	424	844	-	3,943	

# 売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>1,143</b>	<b>446</b>	<b>1,659</b>	-	<b>3,249</b>
		1-4Q.FY2019	1,228	461	1,838	-	3,527
	自動車ガラス	<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>1,788</b>	<b>556</b>	<b>891</b>	-	<b>3,235</b>
		1-4Q.FY2019	2,063	704	1,116	-	3,883
		<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>2,931</b>	<b>1,002</b>	<b>2,550</b>	<b>26</b>	<b>6,510</b>
		1-4Q.FY2019	3,290	1,165	2,954	20	7,429
電子		<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>2,587</b>	<b>232</b>	<b>11</b>	<b>63</b>	<b>2,894</b>
	1-4Q.FY2019	2,452	192	9	115	2,767	
化学品		<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>3,623</b>	<b>311</b>	<b>564</b>	<b>14</b>	<b>4,512</b>
	1-4Q.FY2019	3,950	370	425	14	4,758	
セラミックス・その他		<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>311</b>	-	-	<b>500</b>	<b>811</b>
	1-4Q.FY2019	375	-	-	458	832	
消去		<b>1-4Q.FY2020</b>	-	-	-	<b>▲ 603</b>	<b>▲ 603</b>
	1-4Q.FY2019	-	-	-	▲ 606	▲ 606	
合計		<b>1-4Q.FY2020</b>	<b>9,453</b>	<b>1,545</b>	<b>3,125</b>	-	<b>14,123</b>
	1-4Q.FY2019	10,067	1,726	3,387	-	15,180	

(億円)

ガラス	4Q.18	1Q.19	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20
<b>売上高</b>	1,953	1,861	1,890	1,840	1,837	1,693	1,249	1,717	1,851
建築用ガラス	964	857	890	875	905	801	706	840	901
自動車用ガラス	985	1,001	996	963	923	889	534	869	943
(セグメント間)	4	4	5	3	9	3	8	7	7
<b>営業利益</b>	44	35	39	23	▲ 4	▲ 26	▲ 182	▲ 12	53

電子	4Q.18	1Q.19	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20
<b>売上高</b>	670	594	652	761	760	693	693	715	792
ディスプレイ	436	398	441	449	460	433	433	448	458
電子部材	199	160	185	283	276	238	247	257	316
(セグメント間)	34	36	26	28	24	22	13	10	19
<b>営業利益</b>	78	25	35	109	87	89	85	99	106

化学品	4Q.18	1Q.19	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20
<b>売上高</b>	1,295	1,127	1,158	1,197	1,275	1,142	983	1,091	1,296
クローラルカリ・ウレタン	827	705	710	745	768	695	559	632	755
フッ素・スペシャリティ	328	287	299	302	311	283	247	250	278
ライフサイエンス	136	132	146	147	193	160	173	207	260
(セグメント間)	3	3	4	4	3	4	5	3	3
<b>営業利益</b>	209	144	118	177	191	151	75	98	180

## 数量・価格動向

				2019				2020					
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
<b>前年同四半期比 (YoY)</b>													
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	-1割弱	横ばい	-数%	横ばい	-数%	-1割弱	+1桁半ば	+数%		
			価格(日)	+1桁半ば	+1桁半ば	微増	微増	+数%	+1桁半ば	+数%	+数%		
		北米	数量	-数%	+1桁半ば	+数%	-1割弱	-1割弱	-約2割	+数%	+1割強		
			価格	横ばい	-数%	-1桁半ば	-1桁半ば	-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	-1桁半ば		
		欧州	数量	微増	+数%	微減	微減	横ばい	-約2割	+数%	-1桁半ば		
			価格	-数%	微減	-数%	-1割弱	-1割強	-2割強	-2割弱	-数%		
	自動車用生産台数 (IHS Markit 1/18データより)	日本	数量	+0%	+5%	+5%	-10%	-7%	-48%	-12%	+2%		
			北米	数量	-3%	-3%	-1%	-9%	-11%	-68%	+0%	+0%	
			欧州・ロシア	数量	-4%	-7%	+1%	-5%	-17%	-60%	-6%	+1%	
	電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積	+6%	+6%	+3%	+4%	0%	+5%	+12%	+8%	
<b>市況実績値</b>													
化学品	東南アジアクロアリ (Bloombergより)	苛性ソーダ	価格	USD/MT	421	381	339	311	290	290	275	266	
			PVC	価格	USD/MT	845	880	870	840	805	790	970	1,230
			エチレン	価格	USD/MT	935	675	790	680	500	800	805	920

\*Source : Omdia-2020-Q3-Display Long-Term Demand Forecast Tracker-Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.



		IFRS				
		16/12	17/12	18/12	19/12	20/12
売上高	百万円	1,282,570	1,463,532	1,522,904	1,518,039	1,412,306
営業利益	百万円	96,292	119,646	120,555	101,624	75,780
営業利益率	%	7.5	8.2	7.9	6.7	5.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	47,438	69,225	89,593	44,434	32,715
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	4.3	6.1	7.7	3.9	2.9
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.8	5.7	5.4	4.4	3.1
自己資本比率	%	55	53	51	50	44
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.37	0.38	0.43	0.47	0.63
営業CF/有利子負債	倍	0.47	0.42	0.35	0.32	0.29
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	205.14	302.12	399.51	200.85	147.84
一株当たり配当金	円	90	105	115	120	120
EBITDA *4	百万円	195,767	249,880	259,425	231,857	208,459
為替レート (期中平均)	円/ドル	108.84	112.19	110.43	109.05	106.82
	円/ユーロ	120.33	126.66	130.42	122.07	121.81

\*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

\*2 営業利益/総資産 (期中平均)

\*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

\*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください。 [https://www.agc.com/ir/pdf/data\\_all.pdf](https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf)

発表日	内容
2月4日	CDPから水リスクへの取り組みが評価され最高評価「Water Security A List 2019」に選定
3月2日	「健康経営優良法人2020ホワイト500」に認定
3月3日	女性活躍推進に優れた企業として「なでしこ銘柄」に選定
3月17日	遺伝子・細胞治療に取り組むMolecular Medicine S.p.A.の株式公開買付を決定
5月18日	連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ
6月2日	米国バイオ医薬品原薬製造工場を買収
6月3日	『窓を基地局化するガラスアンテナ』5 G 対応の開発が完了
7月2日	FRONTEOと共同でAI Q&Aシステム「匠KIBIT」を開発
7月27日	EUV露光用フォトマスクブランク供給体制を大幅増強
7月28日	Molecular Medicine S.p.A.の株式公開買付完了へ
8月25日	「DX銘柄2020」に選定
10月28日	AGC Biologics 社の遺伝子・細胞治療CDMO のサービス拡大を本格化
10月29日	通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ
10月29日	社長交代および執行役員の変動ならびに組織改正について
11月11日	第4回日経Smart Work経営調査で4.5星を獲得
11月19日	新研究開発棟を開設
11月30日	A G C のアフレックス®、SoFiスタジアムに採用
12月9日	「サステナビリティ委員会」を設置
12月11日	T-Mobileとガラスアンテナ WAVEATTOCH®の試験実施
12月14日	透明で電磁波を遮蔽・吸収するガラスを開発



Your Dreams, Our Challenge

**END**

**予測に関する注意事項：**

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。